

ICSシステム 税務処理db

給与上手くん α シリーズ

簡易マニュアル



●1 はじめて処理する場合 P.1



会社の登録から1年の処理の流れを記載しています。

● 2 会社登録 P.2



会社情報の登録・変更や部署などの各種登録を行います。

● 3 基本登録 P.6



社員の登録や給与明細書の設定を行います。

● 社員の登録 P.5

● 給与明細書のレイアウトを編集する P.9

● 4 給与・賞与 P.14



月々の給与や賞与の入力を行います。

■ 5 出力(支払・賃金・確認帳票) P.17



給与明細書や一覧表、賃金台帳等を出力します。

● 各業務の印刷機能について P.17

● 支払帳票 P.18

● 賃金帳票 P.20

■ 確認帳票 P.21

● 6 更新業務・その他機能 P.22



|翌月の入力をするための更新や過去月のデータの確認方法を記載しています。

● 翌月更新 P.22

● 月移動・支給日変更 P.23

● 7 算定時決定・随時改定 P.25



毎月の支給情報を元に社会保険の等級の見直し、改定を自動的に行う処理です。

● 8 年末調整 P.28



毎月入力している給与情報元に過不足所得税の計算を行います。

年末調整の作業を完了後、翌年度への更新を行えます。

● 年末調整の流れ P.28

● 年末調整の方法 P.29

● 年末調整(年調データ入力) P.31

● 年末調整票の出力 P.34

● 翌年度への更新 P.35

章はじめて処理する場合

処理の流れ

当システムでは、給与に関しての総合的な処理(月々の給与通常処理/算定・月変処理/年末調整処理)を行うことが可能です。

会社登録~月々の処理の流れ

1.会社の登録

会社情報の登録や設定、手当名称の変更等を行います。 最大3社まで登録可能です。

2.社員の登録、給与体系登録

社員の個人データや、明細書のレイアウトを編集します。

3.給与・賞与処理

月々の給与・賞与データの入力~明細書出力等、一連の作業を行います。

4.翌月更新

翌月の処理に更新します。賞与の場合も更新します。

5.算定時決定・随時改定 (算定は6月支給処理時)

毎月入力している給与情報を元に社会保険の等級の見直し、算定基礎届や 月額変更届等の帳票の印刷が行えます。

6.年末調整

毎月入力しているデータと年調データから年末調整の計算を行います。

7. 翌年に更新

年末調整後、翌年度に更新します。

2 章 会社登録

新規会社登録・修正・削除

「登録・導入」→「新規会社登録・修正・削除」よりマスターの新規作成・修正・削除を行う処理です。



1 新規会社登録

- ①「登録・導入」→「新規会社登録・修正・削除」をクリックします。 会社登録画面が表示されます。会社名 や住所等、各項目を入力してください。 ※アスタリスク(*)は必須項目です。
- ②会社登録画面左上にタブがあり、画面を 切り替えて各ページの設定を行います。

/ポイント

基本会社情報:会社名や住所等、会社の情報

を登録します。

支給・労働条件:給与処理を行う年度や開始

する月、支給日等を設定し

ます。

社会保険:健康保険・厚生年金保険・雇用保

険の区分や率を登録・確認しま

す。

税金・年調:所得税・住民税・年末調整の設

定を行います。

システム設定:部署管理や端額の計算など、

システム的な設定を行いま

す。

3入力・設定を完了後、画面右下の

します。

マスタ処理区分	给与処理				事業主					
会社コード 米		戸付加して町	剛する							
支払者区分	⊛法人	○事業	=			役職				_
法人番号	-		口付	thoして印刷する	代表者住	所: 法人企	後が、電子申告	きを行うとき	きに使用します	ŧ.
会社名称					郵便番	号(検索Home)				
フリガナ / 50音					住所					
事業種目					(±17)					
所在地:					電話番					
郵便番号(検索Home)	ж				応答者:					
市区町村コード(検索	Hone Ж				応答者					
						フリガナ				
7/11±>6						所属部署				
						号 / 内線				\Box
7 7 7 7					社会保険					_
連絡先:					社労士					
電話番号 / FAX番号					社労士					
						フリガナ				
					住所(核					
税務署/税理士:					_ [
税務署名(検索Home)										
楚理番号(納税者番号)										

								_	
9	基本会社情報 支給・労働条件 社会保険 税金・年調 システム設定 ユーザー設定								
	↑︎Ⅵ垻日は必り人刀ま/	د اط:	進択して	- \ 1	こでい。				
	マスタ処理区分	給与如	理						
	会社コード ※			区付	加して印刷す	たる			
	支払者区分	⊙法.	λ.		○事業主				
	法人番号	-		-	-	口付加	0して印刷する	>	
	会社名称								
	フリガナ / 50音								
	声 器锤口								

⁴会社登録完了後、メッセージが表示されます。

(はい(Y) … 「給与・賞与」入力画面に 移ります。続けて[社員登 録]を行う場合はこちらを 選びます。

いいえ(N) …会社登録を終了します。





処理を開始する月について

会社登録時、「支給・労働条件」タブの給与支給設定にて処理を行う年度、入力を開始する月を 登録します。登録された処理開始月以前の月の入力は設定により可能ですが、明細書の印刷は行 えません。また、**会社登録後、「処理年」「処理開始月」は変更できません**のでご注意ください。

「処理開始月」「給与支給基準日(毎月の支給日)」を入力していただくと右側に毎月の支給(予定)日が表示されますので参考にしてください。グレー表示されている月は明細書が作成できない月です。



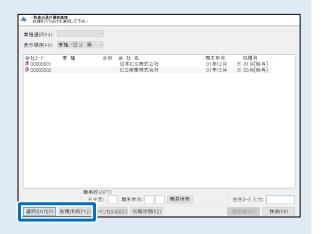
会社選択画面

会社を登録後、「新規会社登録・修正・削除」を 選択すると会社選択画面が表示されます。 表示された会社を選択して 選択(ENTER) をクリックすると選択した会社の修正が可能です。

新たに会社を登録する場合は 新規作成F12) をク リックしてください。

会社の削除を行う場合

会社選択後に表示される会社登録画面を閉じると 会記 が表示されます。 クリックして削除できます。





有給休暇の管理

「新規会社登録・修正・削除」の「支給・労働条件」タブにて有給休暇の設定を行い、起算月に 翌月更新を行った際に自動的に有給日数を更新することが可能です。

/ ポイント ─有給管理を行わない場合

有給管理を「行わない」の状態であっても、 「前年有給残日数」や「有給使用日数」を入 力することは可能です。ここでは起算月に有 給の付与日数や繰越の管理を自動で行うかど うかの設定を行います。

- ①有給休暇管理を「行う」「行わない」 より選択します。
- ②有給管理を行う対象者にチェックを 付けます。
- ③入力した支給月に更新すると自動で 有給休暇日数の付与・繰越を行います。
- ◆起算月に付与される有給休暇の限度 日数を設定します。
- ⑤「次年加算付与日数」を自動計算させるか手動(手入力)で行うか選択します。
 - 自動→各社員の入社年月日から次の 有給年更新が何年目かを判定 して、自動で付与します 入力→次年加算付与日数を直接入力

/ ポイント ―加算付与日数

初年度:入社1年目に付与される日数 2年目:2年目に付与される日数(加算分) ※初年度10日、2年目11日付与の場合は 1日と入力します。3年目以降も同様です。

- ⑤前年の有給残を翌年に繰り越す場合は「有り」を選択してください。 有りの場合は繰越限度日数を入力します。
- **②**起算月に支給される限度日数を設定 します。



1	有給休暇管理	⁄াটি	
2	対象者	☑月給者 □日紀	合者 □時給者
3	起算月(支給月)	10	月
4	有給付与限度	20	B
6	加算付与選択	自動 ▼	
	加算付与(初年度)	10	B
	(2年目)	1	日加算
	(3年目)	1	日加算
	(4年目以降)	2	日加算
6	翌年繰越	有り	
	翌年繰越限度日数	20	日迄
7	有給支給限度日数	40	日迄

有給管理を行う設定後に必要な入力項目

「給与・賞与」明細書入力画面より「項目一覧入力」タブ内の 「勤怠関係」の画面を開きます。

前月有給残日数	10.00
有給当月使用日数	
当月有給残日数	10.00
有給支給日数	
次年加算付与日数	2.00
前年付与日数	12.00
次年有給支給日数	24.00

前月有給残日数(初回は入力してください)

前月から更新した時点で有給が何日残っているかを入力します。初回は必ず入力してください。

前年付与日数(初回は入力してください)

前年に付与された日数を入力しますが、有給管理を行う設定後 初回は必ず入力してください。

次年有給支給日数

- =繰越有給残日数+前年付与日数+次年加算付与日数
- ※有給の繰越しは1年のみのため繰越有給残日数は前年付与 日数を上限とします。



登録画面、出力画面は会社登録画面、給与の入力画面等から開く事も可能です。

登録ガイド [1]会社 [2]給与体系 [3]振込依頼先銀行 [4]部署 [5]区分 [6]役職 [7]社員 登録ガイド 登録ガイド *の項目は必ず入力または選択してください。 会社登録画面等の上部に配置してい 00000001 区付加して印刷する ます。[1]会社~[7]社員をクリック
 のはよ人
 C事業主

 する事で表示される登録画面が切り 代表者住所: 法人企業が、電子申告を行うときに使用します. 替わります。 ニホンイ ニカンアイシーエス 5答者: 160-0023 新宿区 13104 新宿区西新宿1-24-1 エステック情報14F 9" 10055959" 101-24-1 1会保険労務士: エステックシ a 98914f 連絡先: 03-5909-3838 03-5909-3845 脱務署/税理士: キャンセル(Esc) 戻る(F11) 支給・労働(F12) 完了(End) 「給与・賞与」画面 画面上部の各項目より登録関係、各種帳票の出力画面を選択可能です。 登録更新(T) 翌月更新(Y) 確認帳票(K) 月移動(<u>M</u>) 支給日変更(1) チェックリスト(C) 支払帳票(S) 社会保険チェックリスト(H) 会社登録(<u>C</u>) 社会保険計算リスト(<u>S</u>) 給与体系登録(W) 明細書出力(P) 介護保険該当者リスト(K) 項目属性登録(1) 振込依頼書(F) 住民税リスト(』) 納付帳票(N) 給与預入票(A) 振込先銀行登録(B) 算定・月変対象者リスト(R) 金種表(<u>K</u>) 部署登録(<u>S</u>) 退職者用源泉徴収票(受給者交付用)(G) 銀行振込先リスト(<u>F</u>) 区分登録(D) 貫与支払届データ作成(D) 勤怠明細書(<u>W</u>) 役職登録(<u>P</u>) 貫与支払届(総括表)(S) 賃金帳票(C) 有給管理表(Y) 所得税徴収高計算書(納付書)(N) 社員登録(E) 住民税納付書(1) 個人番号登録(N) 給与台帳兼賃金台帳(<u>D</u>) 年末調整(Y) 月別給与一覧表(工) 源泉徴収税額変更(G) 支給·控除一覧表(S) 社会保険料変更(土) 比較表(P) 年調データ入力(\underline{I}) 累積情報リスト(R) ユーザー項目登録(<u>U</u>) 源泉徴収票(C) 比較表(C) 次月計算基礎票(1) 計算ルール登録(<u>K</u>) 給与支払報告書/総括表(S) **給与・質与入力 [00000001] 日本アイシー** ファイル(E) 表示(Y) ウィンドウ(W) オブション 社員絞込(F7) 登録更新団 支払帳票(S) 賃金帳票(C) 納付帳票(N) 比較表(P) 確認帳票(K) 年末調整(Y) ヽルブ(H) 分会社選択
 報酬
 日本

 明細書入力
 社員一覧入力

 5 年 1 月分(給与)
 17 社員絞込 社員登録 プロック F12 Ins Home Dend M理終了 = 個人コード 000001 01月25日 在職/介護区分 在職者 **±**員氏名 上手 太郎 給与/年調区分 月給者/年調する 所属部署 当月 社員登録(F8)



章 基本登録

「給与・賞与」→「給与・賞与」より社員の登録や給与明細書のレイアウト等の設定を行います。



社員の登録

1 社員登録

処理を行う社員を登録します。

① 社員登録 または「登録更新」より「社員登録」を選択します。





		社員コード	
追加(F8)	削除(F9)	社員氏名(姓/名)	
絞込(F7)	(0/ 0)人	社員氏名(フリガナ)	
		123-234-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-	





日給者・時給者の設定

日給者・時給者の場合、「社員登録」の「労働条件」 タブの「給与支給区分」を切り替えてください。

給与区分	月給者
	月給者
	日給者
	時給者



社会保険の設定

「社会保険」タブに健康保険、厚生年金保険の 標準報酬月額または等級を入力します。

	従前
改定種別	新規取得 ▼
新保险料改定年月 ※	エピックと 00日 分保
健康保険 標準報酬月額/等級 ※	220 千円 18 等級
厚生年金保険 標準報酬月額/等級 ※	220 千円 15 等級
(建)隶保)央科	13,200
内基本保険料	11,000
内特定保険料	
内調整保険料	
内介護保険料	2,200
厚生年金保険料	20,130

健康保険・厚生年金**未加入**の場合は「健康保険区分」「厚生年金保険区分」を「未加入」を選択します。

健康保険区分	未加入	-
厚生年金保険区分	未加入	-

雇用保険**未加入**の場合は「雇用保険参照元」を 「個人」に切り替え、「雇用保険区分」を「未加入」 を選択します。

雇用保険参照元	個人	
雇用保険区分	未加入	



住民税の設定

「税金」タブで住民税の入力を行います。 「前年7月以降分」「初回6月分」「7月以降分」 の3つの枠があり、現在作業を行っている月で 徴収する金額を自動で判定します。

入力区分を「手動」に変更すると明細書での 直接入力に変わります。

住民税:	
徵収区分	特別徴収 ▼
給与支払報告書用徴収区分	特別徴収 ▼
入力区分	自動 ▼
前年7月以降分	17 000 円

※印が付いている欄から徴収します

17,600 円

17,000 円

支払区分が「翌月支給」の場合は会社登録の「税金・年調」タブの「初回6月分自動更新月」で初回6月分を徴収する月を設定できます。

7月以降分

初回 6 月分自動更新月

例) 5月分6月XX日支給、6月分7月XX支給の場合 支給月:5月分**6月XX日支給**を初回6月と判断

· 契紹月:3月分**6月 XX 日文紀**を初回6月2刊断 処理月:**6月分**7月 XX 日支給を初回6月と判断

住民税区分	特別徴収	•
初回6月分自動更新月	◉支給月	○処理月

給与明細書のレイアウトを編集する

社員登録完了後の明細書入力画面です。

動怠・支給・控除それぞれの項目名や配置の編集が可能で、実際に明細書を印刷する際のレイアウトとなります。

	出勤日数	欠	勤日数	遅刻回	回数	早退回数	時間外時間	深夜時間	休 E	日時間 休 E	深夜時	間 時間外5時	間
勤													
	日給単価	欠	勤単価	遅刻草	単価	早退単価	時間外単価	深夜単価	休 E	日単価 休 E	深夜単	価 時間外5単	価
怠													
	日宿回数			日宿草	単価		前月有給残日		有給旨	当月使用		当月	
	+ %		47L TH1 =	C VII	-	5 +5 ± W	* v =		^	± ₩	_	ギツ 4	
	本給		役職目	FB	\$	家族手当	手当-1	手当一	2	手当一(3	手当-4	
	* u =		₹ 0		_	cu =	T 12	75 AB		T 112 - a	_		
支	手当-5		手当-	- 6	=	手当ーフ	手当-8	手当一	9	手当-1	0		
			n# 88 N	エ 東	25	on to the	(4.ロギツ	生中海	- T 40	nt 88 51	_	口牌子业	
給			時間外	于当	75	深夜手当	休日手当	休日深夜	于当	時間外()	日宿手当	
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	75	`Z #1 # /	-m		- #1 1-5 00	NR 1 100		- 0.0			20 → 20 m≡	
	通勤費(非課稅		通勤費(マ勤控除	遅刻控除	早退控	际			総支給額	
		0		0									0
	健保内介護保険	徘											
	健康保険料		厚生年金	保険料	その化	也社会保険料	雇用保険料	課税対象	象額	所得税		住民税	
								0	0		0		0
控	既払い定期代	Ċ	控除-	- 1	推	空除一2	控除一3	控除一		控除一等	5	控除-6	
除	控除 - 7		控除-	- 8	推	空除一 9	控除-10						
					担	空除合計		前月端	額分	当月端額	Ą	差引支給額	
						0			0		0		0



給与体系登録

勤怠、支給、控除項目について配置を自由に変更 でき、明細書レイアウトの編集、追加作成が可能 です。



Į.

項目属性登録

手当項目、控除項目等の項目名称の変更や報酬属性、 計算方法等の設定を行う画面です。



1 給与体系登録

①「登録更新」をクリックして、「給与体系 登録」を選択します。



②勤怠・支給・控除と分かれており、変更 したい個所(黄色表示)をクリックして 操作を行います。

╱ポイント ─賞与体系

賞与の明細書は給与の明細書と別のレイ アウトになっています。

賞与明細書のレイアウトを編集する場合 は画面左側にて賞与体系を選択して賞与 明細書を編集してください。

□ ○ 給与体系
○ 0001:給与明細書
○ 0002:ドットブリンタ(約○ 0002:ドットブリンタ(約○ 0003:給与明細書(三人分□ ○ 賞与体系
○ 0001:賞与明細書
○ 0002:ドットブックタ(賞

○ 0003: 賞与明細書(三人名

早退回数 出勤時間 欠勤数 9.前月有給残日数 14.休日時間 欠勤日数 10.有給当月使用日 15.休日深夜E < 前頁 設定したい欄をクリック後 画面上部の項目を選択: セットされる 出勤数 項目編集(Ins) : 項目属性登録へ 給与単価 欠勤 :空欄にする 項目削除(Del) 日宿回数 役職手当 家族手当 給 <u>---</u> 手当-7 手当-5 手当-6 時間外手当 深夜手当 通勤費 (非課稅) 通勤費 (課稅) 欠勤控除 健康保険料 厚生年金保険料 その他社会保険料 既払い定期代 控除-1 控除 - 2 控除ーフ 控除-8 控除-9 控除合計



給与体系を追加して使い分ける

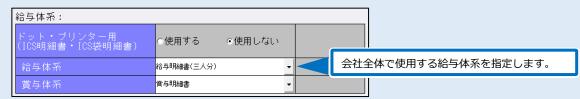
登録済の給与体系を基に新しい給与体系を追加する事が可能です。 所属部署ごとや、正社員やパート等、異なる明細書を用意する場合にご利用ください。

5 年 1 月分(給与)	体系コード 体系名	給与体系	
追加(F8)	削除(F9)			

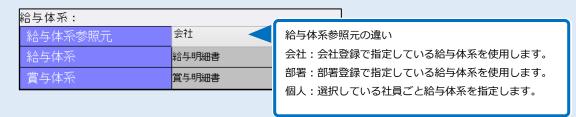
「追加(F8)」をクリック後、「体系コード」と「体系名」を入力します。 体系名は他の給与体系と区別がつくようにお決めください。

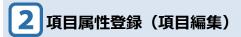
「社員登録」の「労働条件」タブに給与体系参照元があり、どの給与体系を使用するか指定できます。

● 会社単位で給与体系を使用する場合「会社登録」の「支給労働条件」タブで使用する給与体系を選択します。



- 部署単位で給与体系を使い分ける場合 部署登録で使用する給与体系を選択します。
- 会社単位、部署単位、個人単位で給与体系を使用する場合での共通事項 「社員登録」の「税金」タブで「給与支給参照元」を**会社、部署、個人**から選択します。 個人を選択した場合は使用する給与体系も選択します。





①「登録更新」をクリックし、「項目属性登録」を選択します。

②分類項目で勤怠項目~所得項目の中から 分類を選択します。



- ③分類項目選択後、編集したい項目を選択 します。
- ◆項目名称で名称の編集が可能です。使用 範囲を給与/賞与/共通から選択します。

項目名称	時間外 1 時間	勤怠項目
使用範囲	共通	

- う入力端数処理は入力(直接入力)/計算 (自動計算)かを選択します。
- ⑥更新 SW

・継続:翌月更新後も直前の月の内容が

残ります。

・消去:翌月更新後、内容が消去されま

す。

⑦算定・月変処理時の判定に使用します。

/ ポイント ─報酬属性

月変処理において固定的賃金は支給額の変動 の対象になるのに対し、変動的賃金は変動の 対象になりません。ただし、両方とも標準報 酬決定の対象(算定含む)となります。

一時的賃金は算定や月変の標準報酬決定の対 象外となります。

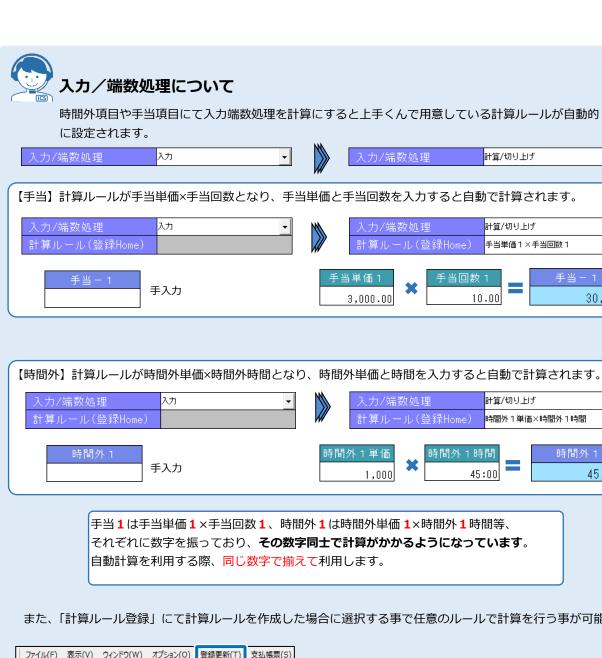
810 進か 60 進を選択します。

例) 30 分を入力する場合

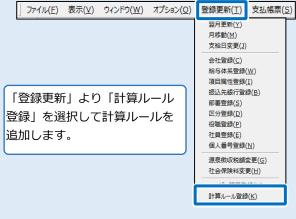
10 進:「0.50」と入力 60 進:「0:30」と入力







また、「計算ルール登録」にて計算ルールを作成した場合に選択する事で任意のルールで計算を行う事が可能です。



āt?	算式名			時	間外								次計算式(Page[
11 -			計算種	別		āt 3	Į,	禹性 (左辺)		演算子	ē	算』	禹性(右辺)
	項目			変数		選択		項目		供异丁	選択		項目
1	計算式	•	X変数	-	X01 =	動怠	•	時間外 1 時間	-	× •	単価	•	時間外 1 単価
2	条件式	•	Ans	-	=	X変数	-	X01 ·	Ŧ	≥ •	数值	-	10000.
3	計算式	·	Ans	-	=	鉄値	÷	10000.0	00	+ •	鼓値	·	0.
4	条件式	•	Ans	-	=	X変数	•	X01 ·	-	< ▼	数値	-	10000.
5	計算式	-	Ans	-	-	動意	•	時間外 1時間	-	× •	単価	-	時間外 1 単価



計算ルール欄にて作成したルールを選択します。

時間外1単価×時間外1時間 計算ルール(登録Home 寺間外1単価×時間外1時間 時間外

-

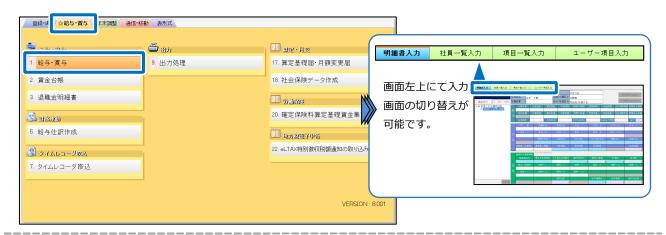
30,000

45,000

4 章 給与・賞与

給与・賞与入力

月々の給与・賞与のデータの入力を行う画面です。入力画面は4タイプあります。 使いやすい入力画面を利用ください。「給与・賞与」→「給与・賞与」を選択します。



1 明細書入力

明細書入力は「給与体系登録」で設定した明細書のレイアウトを表示し入力を行います。

画面左で入力する社員を選択して入力を行ってください。

□ ◎ 日本アイシーエス商事株式:		出動日数				普通残業時間	深夜残業時間 休	日出動時間 時間外48	時間 時間外5時間
□○0:役員		22.00							
○ 000001: 宮本 太郎		日給単価	欠翻単価	運刺車	≨価 早退単価	普通残業単価	深夜残業単価 休	日出動単価 時間外4:	単価 時間外5単位
○ 000002: 武藤 三郎	怠					2.082	2,082	2,249	
○ 000003:戸田 二郎		日宿回数		日宿草	≤116	前月有給残日	33,00 4	給当月使用	当月 33.1
○ 000004: 柴田 良子	=								
□ ○ 1: 社員		基本給	後職		家族手当	調整手当	職能手当	皆動手当	出張手当
○ 000005:新田 直樹		275,00		30,000					
○ 000006: 今井 浩二		特別手当	管理	手当	地域手当	手当-8	手当-9	手当-10	
○ 000007:久保 真一					5,000				
○ 000008:吉本 成実			普通残!	業手当	深夜残業手当		時間外4	時間外 5	
○ 000009:福井 奈々 ○ 000010:鈴木 一輝				0	0		0		
○ 000011: 和久井 弘		通動費(非課税)	通動費(欠動控除		早退控除		
○ 000012:橋本 正樹		10,00	0						325,00
○ 000013: 坂井 三和		健保内介護保険料		2,970					
○ 000014:田仲 晴子 ○ 000015:加藤 祐一		健康保険料			その他社会保険料	雇用保険料	課税対象額	所得税	住民税
○ 000016:北村 奈津·1					この形社芸体操作				
⊞ ◎ 2: アルバイト		20,80 財形貯蓄	積立	32,728	預り金	97 食事代	5 260, 駐車場	489 5,310 福利厚生費	11,00
			-		展り返				жн
		10,00		500	10.50	3,00	0 5.	000	
		携帯電話	控除・	- 9	控除 - 10				
		5,00	0		M-20 0 61		AN ELAWRENCE	U. C. Auge	40 T Leb 40 PR
					控除合計		前月端額分	当月端額	差引支給額
< >					94,321			0 0	230.67

2 社員一覧・項目一覧入力

勤怠関係・支給関係・単価関係等分類ごと に表示して一覧で入力します。



3 ユーザー項目入力

毎月入力する項目や確認したい項目等を登録することで必要な項目のみ画面表示させて入力を行うことができます。

「登録更新」から「ユーザー項目登録」を 選択してセットしたい項目を登録します。 1ページにつき 30 項目まで登録できます。

前頁(F3) ベージ1	▼ 次頁(F4)	メモ(Home)	
項目名称	内容	項目名称	
出勤日数	21.00	16 財形貯蓄	50,000
2 出勤時間		17 積立金	50,000
3 普通残業時間		18 預り金	
4 深夜残業時間		19	
5 休日出勤時間		20	
6		21	
7 普通残業手当		22	
8 深夜残業手当		23 所得税	103,950
9 皆勤手当		24 雇用保険料	
10 出張手当		25	
11 特別手当		26 総支給額	1,000,000
12 管理手当		27 差引支給額	702,491
13 地域手当		28	
14		29	
15		30	

差引支給額の表示

社員一覧・項目一覧入力は「項目属性登録」で**「使用する」と設定している項目すべてが表示**されます。 しかし、明細書入力は「給与体系登録」にて**セットしている項目のみ表示**されます。

社員一覧・項目一覧入力にて入力した項目が明細書入力でセットされていない場合、差引支給額が合わない 事例が起こります。

例) 社員一覧入力にて給与明細書に未セットの手当-8に金額を入力。

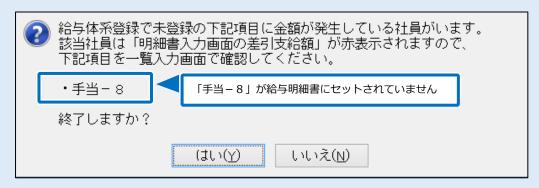


明細書入力では手当―8はセットされていない為、表示されませんが、総支給額、差引支給額には含まれます。**明細書上で金額が合わない為、差引支給額が赤色表示になります。**

【正常】 【不一致】

差引支給額 255,421 差引支給額 255,421

不一致のまま処理を終了するとメッセージが表示されます。 どの項目が原因か確認いただけます。





各項目欄の色の違いについて

各項目の入力欄は手入力可能や、自動計算など設定によって異なります。 金額欄の色で違いが分かるようになっております。

手当-1	白 色	直接入力を行う欄です。 翌月に更新した際、「項目属性登録」の「更新 SW」が「継続」 であれば入力した金額は次月以降も残ります。
所得税 3,730 手入力 Delete キー 所得税 5,000	水 色 ↑ ↓ 緑 色	水色の枠は自動計算が行われている状態です。 直接入力もが可能ですが、入力した場合は緑色にかわり、 実額入力状態となります。 実額入力を解除して自動計算状態に戻す場合は 「Delete」キーを押下してください。
総支給額 200,000	薄紫色	総支給額や課税対象額、差引支給額欄等は自動的に集計される欄となっており、入力できません。



月給者・日給者・時給者の本給について

本給欄は月給者・日給者・時給者で本給欄の表示が変わります。

【月給者】

本給欄は直接手入力します。

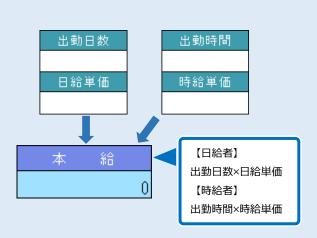
本給実額入力

【日給者】

本給欄が水色になり、自動計算の状態になります。 日給単価を入力しておき、出勤日数を入力する事で 自動計算されます。

【時給者】

本給欄が水色になり、自動計算の状態になります。 時給単価を入力しておき、出勤時間を入力する事で 計算されます。



月給者の本給欄、日給単価・時給単価欄は、翌月更新を行った場合、入力した金額は維持されます。

章

出力(支払・賃金・確認帳票)

各業務の印刷機能について

1プリンターの確認

●各業務で使用するプリンターは、業務選択画面で指定します。



2 印刷設定画面

ます。(CSV 形式とは Excel 等の表計算ソフトで 加工することができる形

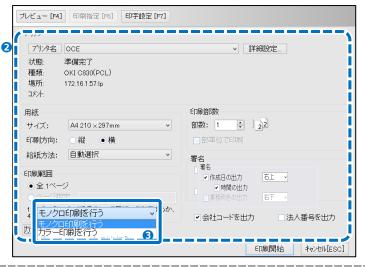
式です)

☆☆ ボタン:印刷結果を画面上で確認

する事ができます。

□5 ボタン:印刷画面に移行します。

- ②印刷を行うプリンターや用紙サイズ、給紙方法などを確認・選択します。
- 3カラープリンターを使用する場合、「カラー印刷を行う」を選択します。



3 印字設定

[印字設定 [7]] ボタンから印刷する際の印字位置調整が可能です。

●数値を1変えると0.1mm移動します。

上からの移動量:数字が増えると下へ、

減ると上へ移動。

左からの移動量:数字が増えると右へ、

減ると左へ移動。

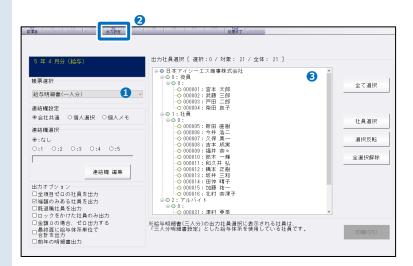
例) 印字位置を左に 3mm 移動させる場合 **左からの移動量**に**-30** 設定します。



支払帳票

1 明細書出力

- ・1帳票選択で出力タイプを選択してください。
- 3出力を行う社員を指定します。社員名を クリックすると名前が青く反転します。 もう一度クリックすると未選択に戻りま す。

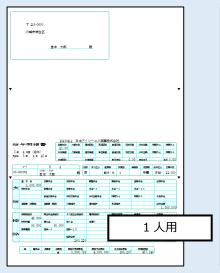




給与明細書の種類

帳票選択から給与明細書の出力タイプは1~3人用があります。

※3人用はフォーム自体が異なるため、3人用の明細書の設定が必要です。









明細書の扶養欄の表示について

性別	本人区分	配偶者	扶養数	障害者	税額表	給与区分	労働日数
男	寡勤障	有・源	1. 2(1.1	4(3.1	甲欄	月給	23. 000

《本人区分》

寡:寡婦、ひ:ひとり親、勤:勤労学生、障:障害者、特障:特別障害者

《配偶者》

有・外:「配扶養区分」が「一般」、「源泉控除対象」が「非該当」 有・源:「配扶養区分」が「一般」、「源泉控除対象」が「該当」 配外・源:「配扶養区分」が「対象外」、「源泉控除対象」が「該当」 配外・外:「配扶養区分」が「対象外」、「源泉控除対象」が「非該当」 有(老・外:「配扶養区分」が「老人」、「源泉控除対象」が「非該当」 有(老・源:「配扶養区分」が「老人」、「源泉控除対象」が「該当」

無:配偶者無し

《扶養数》※配偶者を除く数を表示します。 特定・全扶養者数(老人扶養・左のうち同居老人

《障害者》※配偶者を含む数を表示します。 全障害者数(同居特別障害者+特別障害者・左のうち同居特別障害者

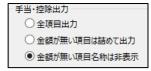
《税額表》

甲欄:"甲欄/自動計算 乙欄:乙欄/自動計算 甲入:甲欄/実額 乙入:乙欄/実額

~明細書出力〇&A~

Q1:【明細書で発生のない項目を非表示にできませんか】

A1:「F6 出力設定」から任意出力タブを選択します。「手当・控除出力」にて表示方法を変更可能です。



Q2:【帳票選択で給与明細書(三人分)に切り替えると社員が表示されなくなります】

A2:給与明細書(三人分)に関しては出力される項目数が限定されますので、給与明細書(三人分)用の給与体系の登録と、給与明細書(三人分)を使用するために給与体系参照元の設定を切り替える必要があります。

Q3:【明細書を出力した際のO月度は変更できますか】

A3:F6 出力設定の作成年月を打ちかえることで変更できます。



賃金帳票

1 給与台帳兼賃金台帳

各人の給与台帳・賃金台帳を出力します。

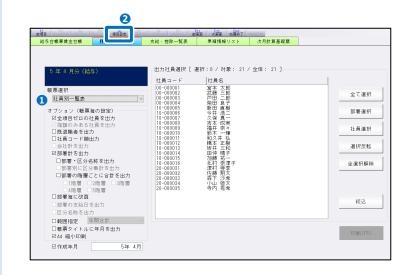
- ①帳票選択では大きく分けて給与台帳と源 泉徴収簿兼賃金台帳の2種類あります。
- ②源泉徴収簿兼賃金台帳に関しては出力オプション又は 項目設定 で出力項目の拡張 や出力する項目の選択並び替え等ができます。
- ③月指定出力も可能です。
 □ ∑ ∑ ∑ ∑ □ 下 ◯ □ 押 下後、月指定を
 行う画面が表示されます。



2 月別給与一覧表

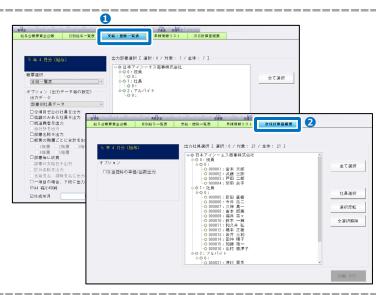
処理中の月の一覧表の出力です。部署単位 または区分単位で出力も可能です。過去月 分を出力する場合は月移動(P23参照)で 該当の処理月に戻して出力可能です。

- ●帳票選択で社員別、部署別、区分別、簡易版の選択が可能です。
- ②賃金台帳同様、 項値をで発生のない項目 の出力カットや項目の並び替えなどの設 定があります。



3 支給・控除一覧表 次月計算基礎票

- ①支給・控除一覧表は部署別、区分別で作成可能です。各個人の支給と控除の内容を一覧表形式で出力します。
- 2当月の明細表形式で、各支給、控除項目 の金額欄が2段表示になります。下段に 当月分が表示され、上段に記入等ができ ますので、次月の給与計算等にご使いく ださい。



確認帳票

1 チェックリスト

支給計算前のデータや社会保険、住民税の 入力を行った内容をリスト出力します。



2 会社・社員情報リスト

必要な項目にチェックを入れて
の
の
で登録情報のリストを出力します。

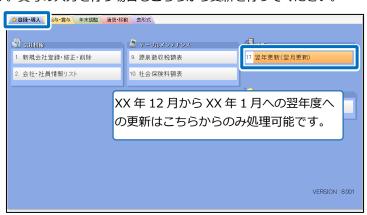
- ●個人番号チェックリストタブに切り替えると、入力した社員と扶養親族の個人番号を一覧で出力することが可能です。
- ②個人番号は p F5 刷 →個人番号の欄にて "出力する"を選択すると、個人番号が出 力されます。
- ※個人番号を出力するには、「共通処理」の 「ユーザー登録」で個人番号アクセス可 能権限を付けているユーザーでログイン 時のみ出力可能です。

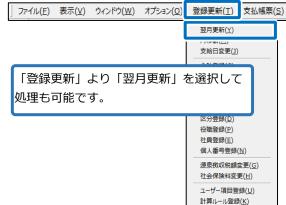


更新業務・その他機能

翌年更新(翌月更新)

処理月・処理区分を更新する業務です。翌月更新に関しては**「給与・賞与」**入力画面の**「登録更新」**から更新も可能です。賞与の入力を行う場合もこちらから更新を行ってください。





1 翌月更新

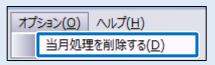
- 処理区分は給与に更新するか賞与に更新 するかを選択してください。
- ②支給日は会社登録の基準日より自動表示 しますが、変更も可能です。 更新後も「会社登録」の「支給労働条 件」タブで変更可能です。
- ③年調項目は12月に更新時に選択可能に なります。
- ◆支払基礎日数は算定・月変処理の判定に 影響します。時給者・日給者に関しては 出勤日数が支払基礎日数となります。
- 5社会保険徴収月は更新後の徴収月です。





翌月更新の取り消しについて

賞与に更新するつもりが間違えて給与に更新してしまった時などに、更新後の処理月を削除して更新前の処理月に戻すことが可能です。「翌月更新」のオプションから「当月処理を削除する」を選択して削除を行います。※削除をおこなった処理月は復帰できません。





「給与 5年4月25日」を削除し、「給与 5年3月24日」に戻ります。給与を削除してもよろしいですか?

はい(Y)

いいえ(<u>N</u>)

月移動・支給日変更

過去月の金額の修正や明細書の出力などを行う場合は月移動で過去月に戻ることができます。前述の「翌月 更新」にある「当月処理を削除」と異なり、現行月が削除されることはありません。ただし過去月について は一部修正できない箇所もありますのでご注意ください。

1 月移動

- ●給与賞与の入力画面より、「登録更新」から「月移動」を選択します。
- 2現在の処理月まで表示されます。

済:処理済の月(過去月)

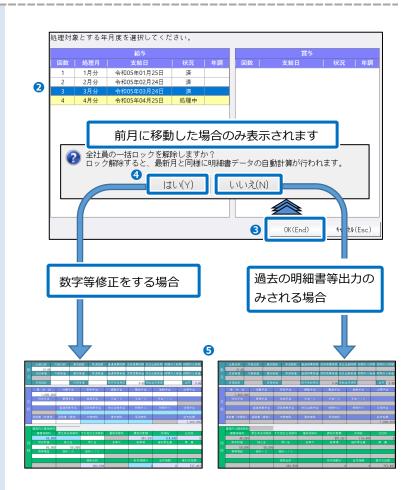
処理中:現行の月

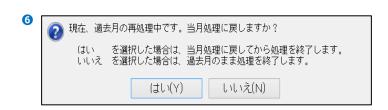
再処理中:月移動で移動して処理中の月

- ④前月に移動した場合のみ一括でロック解除するかどうかを聞いてきますので、数字等の修正をされる場合は「はい」で進めてください。

「いいえ」で進めた場合又は前々月以前 に移動した場合でロック解除する場合は 社員単位で行うかオプションの一括ロックから解除してください。

- ⑤前月までであればロック解除を行うと所得税や社会保険等を訂正すると自動計算されます。前々月以前は既に徴収済と扱われ、再計算はかかりません。
 ※訂正は可能です。
- ⑤過去月の処理が終わりましたら必ず元の 処理月に戻してください。画面終了時に 当月に戻すかどうかのメッセージが表示 されます。







前々月以前に移動した場合

ロック解除しても社員情報や会社情報の一部など修正できない箇所があります。 項目属性登録の内容に関しては前月以前の過去月にさかのぼっての名称等の変更は行えませんので 注意してください。

2 支給日変更

過去月の支給日変更が行えます。 給与・賞与の入力画面の「登録更新」から「支給日変更」を選択します。

支給日変更は現行月で行います。「月移動」で過去月への移動は不要です。

- ①会社・部署・個人それぞれの支給日の変更が可能です。参照元で変更する単位を 選択し、支給日を変更してください。
- 2個人支給日を変更する場合は「社員支給 日の変更」を選択し、画面を切り替えて ください。
- ⑤部署や個人の支給日変更する場合はあらかじめ変更する部署又は個人を選択の上変更してください。

/ ポイント ―現行月の支給日変更

「支給日変更」では過去月の支給日の変 更のみ可能です。

現行月の支給日変更は「会社登録」の「支給・労働条件」で変更可能です。



~支給日変更Q&A~

Q1:【当月分の支給日はどこで変更するのでしょうか】

A1:「会社登録」の「支給・労働条件」タブ内のO月分支給日の欄で変更してください。





7 🛊

算定時決定・随時改定

算定基礎届・月額変更届

毎月の支給情報を元に社会保険の等級の改定を自動的に行う処理です。 算定基礎届や月額変更届の出力も可能です。

「給与・賞与」の「算定基礎届・月額変更届」より作業を行います。



1 算定・月変処理

- ①会社を選択すると算定・月変処理を行うかどうか確認画面が出ます。 (はい(y)) を選ぶと処理が行われ、 (いいえ(N)) を選択すると処理を中断します。
- ②集計後、結果が画面に表示されます。 「算定月変一覧」では各社員の結果(算 定・月変・対象外)が一覧で確認でき、 「算定月変入力」では選択した社員の詳 細を確認・編集できます。

゚ ポイント ―処理を行うタイミング

処理を行っている月から前3か月の平均を 取り計算を行います。

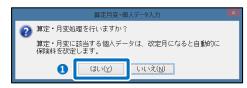
翌月支給(末締め翌10日支給等)の場合、 支給日を基準に判断を行うため、算定処理 は支給日が6月の時に行ってください。そ れ以外の月では月変となります。

【算定】

4月分	5月分
5月XX日	6月XX日
5月分	6月分
5月XX日	6月XX日
	5月XX日 5月分

【月変】

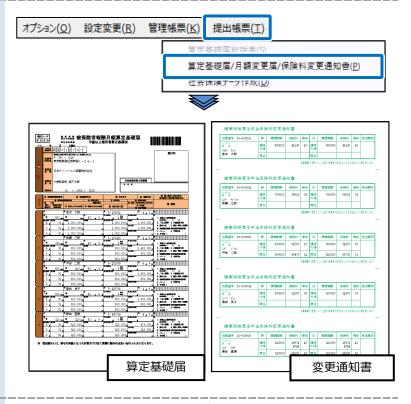
4月分	5月分	6月分
5月XX日	6月XX日	7月XX日







❸画面上部の「提出帳票」より算定基礎 届・総括表や保険料変更通知書等の帳票 の印刷が行えます。



⁴算定月変の処理を行うと「社員登録」の 「社会保険」タブの「改定欄」に改定後 の等級が自動的に書き込まれます。 改定が行われる月まで更新を行うと"従 前欄"に標準報酬月額・等級が移動し、 移動後の標準報酬月額・等級を基に 社会保険が計算されます。

「社員登録」の「社会保険」タブ



【算定月変処理実施後】改定欄に等級が書き込まれる



【改定月に更新後】改定欄より従前欄に内容が移動する

	従前	Ī		改定	(算定	(結果)	
算定			4	対象外			•
令和05年	09月	分保	倹料			分保	倹料
320	千円	23	等級		千円		等級
320	千円	20	等級		千円		等級

~算定基礎届・月額変更届Q&A~

Q1:給与・賞与終了時や翌月更新の際、月変対象者がいます。とメッセージが出ますがどうすれば良いでしょ うか。

A1:処理を行っていた月を含めて3か月の平均より、次月以降等級の見直しが必要な方がいる場合にメッセー ジが表示されます。「確認帳票」より「算定・月額対象者リスト」にて対象者をご確認ください。自身で 等級の管理を行っており、月変対象となる方が存在しないと分かっている場合はメッセージを無視して作 業を行っていただいても結構です。

【処理終了時】

月変対象者がいます。 「算定・月変対象者リスト」にて、対象者を確認してください。

【翌月更新時】

月変対象者がいます。 月変処理が必要な場合は、更新を中断し、月変処理を行ってください。

更新してもよろしいですか?

【1.算定基礎届・月額変更届を開いて確認】

	個人コード	氏名	性別	01月の基礎日数	02月の基礎日数	03月の基礎日数	
	対象区分	生年月日	種別	合計	合計	合計	対象月総合計
Į	000001	上手 太郎	男性	31	28	31	
	月変	平成05年06月12日	1	220,000	220,000	220,000	660,000

対象者は「月変」と表示されます。

【2.社員登録に改定情報がセットされます】



改定(月変結果)に変更になる月、等級が書き込まれます。

従前欄に転記され、改定欄は対象外に戻ります。

【改定の取り消し】

令和03年09月 分保険料

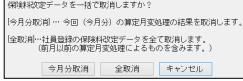
320 千円

320千円

今月分取消

「算定基礎届・月額変更届」の処理を行って算定・月変対象者となった場合、自動的に等級の変更準備が 行われます。不要な場合は取り消しを行います。





対象外

23 等級

20 等級



今回の作業分のみ(月変結果)取り消されます。

千円

千円

改定(算定結果、月変結果)が全て取消しされます。

【社員ごとに取り消す場合】「算定月変入力」にて該当社員を選び、「対象外」にします。

対象区分 月変 対象外 ○算定

360千円

月変

分保険料

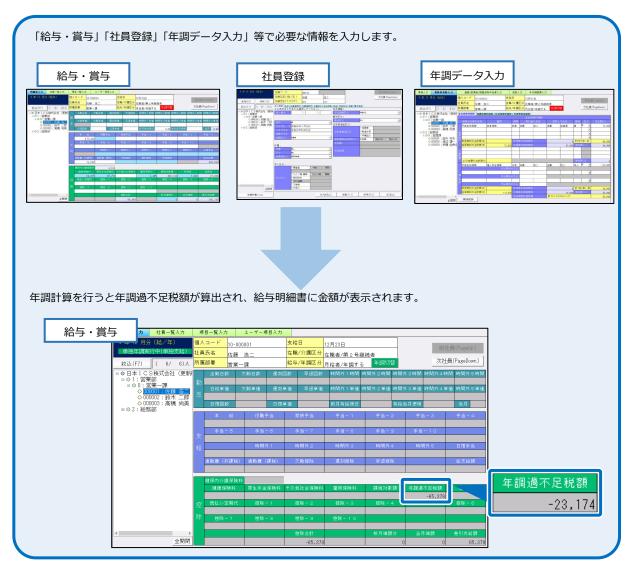
22等級

等級



年末調整の流れ

毎月入力しているデータと年調データから年末調整の計算を行います。 年末調整の計算を行うと、年末調整の過不足税額が明細書画面に表示されます。



当期の最終の支給月に更新を行うと「給与・賞与」「年末調整(年調データ入力)」に「年調切替」ボタンが用意されま す。赤色表示は年末調整を「未実行」、緑色は「実行」状態を表しています。



年末調整の方法

給与上手くんaシリーズでは年末調整を2つの方法から選択していただき計算を行います。

給与&年調

12 月分給与と年末調整を同時に行う方法

4 年 12 月分(給&年)

給与年調実行中

12月給与(賞与)と年末調整計算 を同時に行い、過不足額を所得税欄 に表示します。12月分の所得税は 省略され徴収しません。

	基本給	役職手当	家族手当	調整手当	職能手当	皆勤手当	出張手当
	265,000	10,000	15,000				
-	特別手当	管理手当	地域手当	手当-8	手当-9		
支				0			
給		普通残業手当	深夜残業手当	休日出動手当	時間外4	時間外 5	日宿手当
		0	0	0			
	通動費(非課税)	通動費(課税)	欠動控除	遅刻控除	早退控除		総支給額
	100,000	50,000					440,000
	健保内介護保険料	3,630					
	健康保険料	厚生年金保険料	その他社会保険料	雇用保険料	課税対象額	所得税	住民税
	25,432	40,260		1,320	272,988	-19,014	0
控	財形貯蓄	積立金	預り金	食事代	駐車場	福利厚生費	寮 費
	10,000	500		3,000	5,000		
除	携帯電話	控除 - 9	控除-10				
	5,000						
			控除合計		前月端額分	当月端額	差引支給額
			71,498		0	0	368,502

単独年調

過不足計算を単独で行う方法

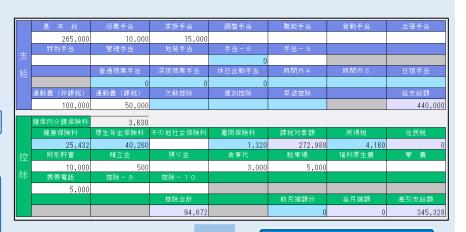
4 年 12 月分(給与)

12 月給与は他の月と同じように計 算します。所得税も徴収します。

年調切替 ボタンが**赤色**=年調**未計算**

重要

12 月給与の処理後に 年調切替 ボ タンからに年末調整計算を行うに切り 替えます。



給与の作業完了後、年末調整を 実行します。

4 年 12 月分(給/年) 単独年調実行中(単独支給)

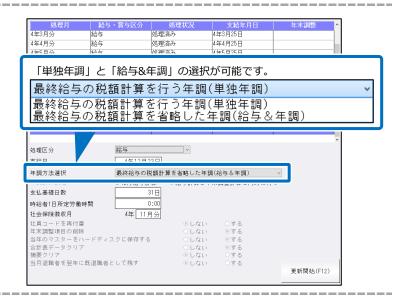
年末調整関係の入力内容を元に年調 過不足税額を表示します。

年調切替 ボタンが**緑色**=年調**実行中**

	基本給	役職手当	家族手当	調整手当	職能手当	皆動手当	出張手当
	特別手当	管理手当	地域手当	手当-8	手当-9		
支							
給		普通残業手当	深夜残業手当	休日出勤手当	時間外4	時間外 5	日宿手当
	通動費(非課税)	通動費(課税)	欠勤控除	遅刻控除	早退控除		総支給額
	健保内介護保険料						
	健康保険料	厚生年金保険料	その他社会保険料	雇用保険料	課税対象額	年調過不足税額	住民税
						-23,174	
控	財形貯蓄	積立金	預り金	食事代	駐車場	福利厚生費	寮費
除	携帯電話	控除 - 9	控除 - 10				
			控除合計		前月端額分	当月端額	差引支給額



112月給与に更新する際に「年調方法選択」欄にて指定可能です。



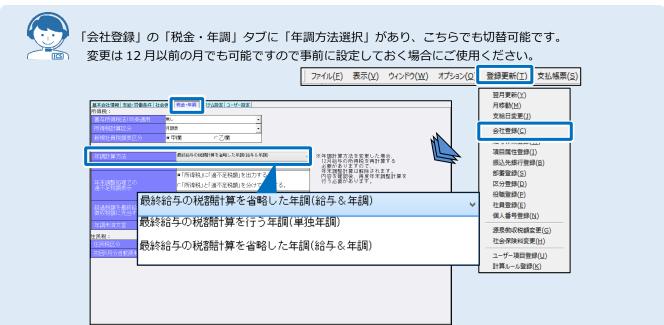
2 年調切替 ボタンについて

- ①1年調処理月は「年調切替」ボタンが表示 されます。クリックして年末調整方法の 変更等を行えます。
- ② 年末調整計算を行う 年末調整の計算を行います。年末調整 の設定を変更可能です。

○通常の給与計算を行う

年末調整の計算を行わない状態。通常 の給与の計算のみ行っている状態で す。





年末調整(年調データ入力)

毎月処理している入力データと年調データを基に年末調整の計算を行います。

「年末調整」→「年末調整」を開いて作業を行います。(「年末調整」は給与上手くんaProⅡのみ搭載)



「給与・賞与」→「給与・賞与」画面上部の「年末調整」
→「年調データ入力」より作業も可能です。
(給与上手くんaは「年調データ入力」からのみ作業可能です)

納付帳票(N) 比較表(P) 確認帳票(K) 年末調整(Y)

「年調データ入力(I)
「年票テータ入力(I)
「株子以収収示(L)」
「総方文払報告書/総括表(S)

年調データ入力は年末調整関係の入力、計算を行う画面です。「累積入力」「保険料控除入力」「基礎/配偶者/調整控除申告書入力」「控除入力」「年末調整票入力」と5つの画面で構成されます。



● 累積入力

社員ごとに各月の支給額等を確認します。

個人:	人コード 10-00005			支給日	12月23日				
社員日	員氏名 新田 直樹			在職/介護	区分 在職者/第2	号継続者			
所属部	所属部署			給与/年訓	区分 月給者/年調	する 年調切替			
	支給日	扶養	税率	支針	88	非課税	総支給額	社会保険料	所得税
	支給日 前職分	扶養	税率	支針	88	非課税	総支給額	社会保険料	所得税
		扶養	税率	支針	315,000	非課税		社会保険料 48,879	
01.	前職分	扶養	税率	支針			325.000		所得税 5,51 5,51

● 保険料控除入力

生命保険料控除 地震保険料控除 / 社会保険料控除 / 共済等掛金控除

基礎/配偶者/調整控除申告書入力各種保険料や配偶者特別控除を登録します。

	保険会社等の名称	種類	期間	契約者	の氏名	受取人	の氏名	続柄	区分	支払額(a)
3	ひまわり生命	養老	10	新田	直樹	新田	みどり	妻	18	•
-										•
般 _										•
検										•
90	新保険料の合計額(A)		新保	支料控除額①			0	8H(①-	+②)(
基础	楚控除申告書/配偶者(特別)控除等申告書/所得	金額調	整控除申告書						
	图者氏名	個人番号		住所が異なる	場合の配偶者	住所(検索Hone				配偶者氏名転記
	.me.xu	- - - -		8便醫号			生計を一	にする	事実 :	00111100111100
新E	田 みどり	生年月日								
L		昭和53年07月21日								
	給与所得者の基礎控制	0 m + m 4			A SO E TES	界者の配偶者	MIN W III II I	n 4		
T 1					▼#a → 1711:	サ石ツ8に四石				
H		本人の合計所得金額	_	(D.). es	~		配偶者の合語		医翻	Telephone and
	所得の種類	収入金額等	ff	得金額	所得	の種類	収入金	語等	_	所得金額
	給 与 所 得	4,580,000		3,224.00	6 5					0
	給与所得以外 の所得の合計額				給与所 の所得	得以外 の合計額				
	合計所行	非金額		3,224,00	0	配偶者の合	計所得金額			0

● 控除入力

年末調整票の控除に関する項目を登録します。

		入力额	控除額
非課税修正分 / 翁	5年・賞与等合計		4,580,000
所得金額調整控除額	/ 給与所得控除後の給与等の額		3,224,000
	内小規掛金 / 給与等からの控除分		707.312
社会保険料	申告による控除分		
TI ZI IKRKET	内国民年金保険科等		0
	申告による小規模共済等掛金		0
	一般生命保険料(旧/新)		
生命保険料	介護医療保険料		
	個人年金保険料(旧/新)		0
地震保険料	地震保険料	·	
地展体膜性	旧長期損害保険料		0
配傷者(特別)接除額	配偶者所得見積額		
EMACHMAN EMA	配偶者その他所得		380,000

● 年末調整票入力

年末調整票の控除以外に関する項目を登録します。

前年		(基づき繰り		· た週不)	己税员	頂												
司上	の税額運付額	収月区分	月	税				蕿				月	稅			残		
			源	泉配偶さ	1		一般			特定		[8]	居老親		老人		牌	害者等
				当初			当初			当初			当初		当初			当初
扶			無し		_			0			0		0			0		0
義	2.00		月	В		月	В		月	В		月	В	月	В		月	В
羆					•													
等しの	3 (2)		月	В		月	В		月	В		月	В	月	В		月	В
Ě -																		
	異動1	ě	無し					0			0		0			0		0
	※ 扶養者数に の人数」に※ この画面の	異動があるち	製合は	社員登:	ほのお	養情報	で画画を	人数	を入力し	ノてかり	5当初	又は 2 E	受目欄に表示	されて	いる人	数を「	異動前	
	※ この画面の	情報は、源別	數較	薄の当初	人数推	響に出	力可能	です										
															税		額	
		手 当	等								3,	156,0	00					60,450
	質 .	与 等		(4)(6)								700,0	00					24.220
											3,	856,0	00					84,670
血	差引課稅給	与所得金額	/ 4	-調所得	見額						- 1,	546.0	00					77,300
11	年調年税額																	78,900
末	差引超過額	又は不足額	((2	5) - (8)) (26)												-5.770
調		本年最初																0
整	超過額	未払給与	針に係	る未歓り	その形	(朝に)	充当す	る金	額(28									
386		差引還作	†する						(29)									5.770
	の精算		L	本年中1														5,770
				翌年に					31)									
	不足額 の精算	本年最後																
	の精算	翌年に終	り越	して徴れ	₹ हें ह	金額	(33)											



- 1年間の給与計算の情報が自動的に集計されていますので確認してください。
- ●前職欄に社員登録の前職タブで入力した 金額が表示されます。
- ②現物支給欄では、給与や賞与とは別に支給された支給物に相当する金額を入力することで、年間支給額に反映させることができます。オプションから実額編集を選択して入力してください。
- / ポイント 一実額編集時の注意 累積情報に誤りがある場合は、実額編集で はなく「給与・賞与」入力から過去月に戻 って訂正してください。賃金台帳にも同時 に訂正を反映させる必要があるためです。

上 員氏名	佐藤 浩	<u>=</u>	在職/介護	住場:有/ 第 4 7			社員(PageUp)
属部署	堂業—訓	P	給与/年調	区分 日給去/生調で	キス 年調切替	次在	上員(PageDown)
定額編集を	行う場合	、オプミ	ョン/実額編集にも	刀り替えて編集を行	_{ずっ} てください。		移動方向:右
						A L A JMOANN	=6/024
前職分							
00.0040	-		177 000	10.000	100,000	71.000	1,000
02月24日	- /		477,000 477,000	12,000 12,000	489,000 489,000	71,803 71,803	1,320
03月24日 04月25日	+ -		477,000	12,000	489,000	71,803	1,320 1,340
05月25日	+ -		477,000	12,000	489,000	71,361	1,340
06月23日	-		477,000	12,000	489,000	71,361	1,340
07月25日	1 1		477,000	12,000	489,000	71,361	1,340
08月25日			477,000	12,000	489,000	71,361	1,340
09月25日	1 2		477,000	12,000	,	71,361	1,340
10月25日	7		477,000	12,000	489,000	71,638	1,320
11月24日	7		477,000	12,000	489,000	71,638	1,320
12月25日	7		477,000	12,000	489,000	71,638	-64,855
給与合計	1		5,724,000	144,000	5,868,000	858,489	-50,215
07月15日	7	4.084	700,000	0	700,000	106,197	24,250
12月15日	7	4.084	750,000	0	750,000	114,225	25,965
1							
MA H A E							

保険料控除入力・基礎/配偶者/調整控除申告書入力

【保険/基・配・所申告書を作成する場合】 ●申告書形式に沿って3つのタブで情報を 入力します。

✓ 重要 ─3 つのタブを切り替えて入力
保険料控除入力

- ●生命保険料控除タブ
- ・地震保険料控除/社会保険料控除/共済等掛金控除タブ

基礎/配偶者/調整控除申告書入力

- ●基礎控除申告書/配偶者(特別)控除等申告書/所得金額調整控除申告書タブ
- 2一般保険・個人年金は区分 ▼ 新・旧を 選択します。契約日が平成 24 年以降の場 合は新を選択してください。
- 3 保険削除 ボタンで選択した保険データ を行単位で削除します。
- ◆所得者の合計所得金額が1000万円を超える場合、配偶者控除及び配偶者特別控除の適用を受けることはできません。
- ⑤配偶者の収入金額を入力します。社員登録の扶養情報タブ内にある『配偶者の所得見積額』に金額を連動します。
- ⑥ 配偶者氏名転記 で扶養情報から配偶者氏名 の転記が可能です。
- **⑦**所得金額調整控除を受けるための要件に対応する扶養情報等を入力している場合、自動的にチェックが入ります。調整控除に該当しても自動判定できない要件に該当する場合は、扶養親族等の情報を入力します。



生命保険料控制 地震信	果険料控除	/ 社会保険料抗	空除 / 共活							
ij					炭料控除					
保険会社等の名称	1	重類	期間	契約者	の氏名	保険対	象住宅居住者	続柄	区分	支払額(A)
平成海上保険	住宅総合		20年	佐藤	浩二	佐藤	浩二	本人	地震 🔻	12,000
平成海上保険	住宅総合		20年	佐藤	浩二	佐藤	浩二	本人	旧長期 ▼	15,000
(A)のうち地震保険合計	†(B)	55.5		12,000	(A)のうちI		保険合計(C)			15,000
控除額 (B)の金	額		12,000	(C)の金額			12,500 計(左の	B + C)		24,500
		30					1 AC			
								小块	見模企業共	
種類	区分	保険料支払5	七名称	保険料負	担者氏名	続柄	保険料金額	1	虁	掛金金額
国民年金保険	四年金▼	日本年金機構		佐藤	浩二	本人	162,96	10 独立作	T政法人	
	-							企業型	世年金).
								個人型	世年金	
				合計(控除額	1)		162,96	0 心身际	書共済	1
								승計(控除額)	



3 控除入力

年末調整票形式で数字の確認・入力を行い ます。白色欄は直接入力欄です。

- ●非課税額に誤り等があった場合に、支払い済みの支給額との差額分を入力します。
- ②給与から控除した社会保険料に含まれる 小規模企業共済等掛金(確定拠出年金) を入力します。
- 3区分 ▼ を選択し、居住開始日と年末残 高を入力することで、住宅借入金等控除 可能額を簡易計算します。
- /ポイント ―住宅借入金の区分
- ●住…一般の借入
- ●増…バリアフリーや省エネ改修に係る借入
- ●震…東日本大震災に係る借入
- ●認…認定長期優良住宅の新築等に係る借入
- ●住(H20 特例...平成 19・20 年の延長特例 を受けている場合の借入

以下の場合、簡易計算ができません。 控除額を実額入力してください。

- ●借入が2件以上ある場合
- ●増改築借入がある場合

非課税修正分 / 新	音与・賞与等合計	初	控除额	※ X X X X X X X X X X X X X X X X X X X
デース (水水) S 正 カ / す 所得金額調整控除額	- ナ・貝 ナザロロ / 給与所得控除後の給与等の額		/,	174,000 入保各 特特 力険保 特特 356,600 し等険 特
71177346 0 100-148 14.171101	内小規掛金 / 給与等からの控除分	I	2 1.	174,000 356,600 095,749 (大学年) 162,980 0 0 0 162,980 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
	申告による控除分	1		(造は
	内国民年金保険料等	162,9	50	162 960 さえ 4545
	申告による小規模共済等掛金	102,0	10	162,960 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	一般生命保険料(旧/新)	72,000		置 特取
	介護医療保険料	121000		
	個人年金保険料(旧/新)	118,000		93,000 特住居 保宅住 24,500な控開 (例 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別
III AT AT TO BY	地震保険料	12,0	10	特住居即例
地震保険料	旧長期損害保険料	15,0	10	24,500 な控開 得
配偶者(特別)症除額	配偶者所得見積額			
BEIDGE (MAN) SEREN	配偶者その他所得			380,000 大製育 別
扶養控除額、障害	者等の控除額の合計		2.	93,000 93,000 4,500 9,80
基礎控除額 / 所得	控除額の合計			テ ラ フ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア
	金額 / 算出所得税額	550,0	10	27,500 算末 得
住宅借入金等	区分 居 住 特定 年末 (関始日 取得 残高 (住 ▼ 平成 28年11月01日 ▼ 令和	2,	27,500 (算末 (1) は (1) は (1) は (2) は (3) は (4) は (5) は (6) は (6) は (7) は
	特別控除可能額 / 控除の額	20,01	iul	20,000 /€ 64,299 (
	出税額			
	イナスの場合は0)/年調年税額	7,5	10	7,600
差引超過額叉は不	足割			-56,699
(特定増改築等) 住宅借入金等	区分 居 住 特定 年3	(1) 住 ▼ 平成 28年1	1月01日 特 ~	2,000,0
	特別控除可能額 / 控除の額		20.	3 20,00
給与・賞与等	算出税額		持持	64.20

- ・特定取得に該当…「特」を選択
- ・特別特定取得(特例取得及び特別特例取得を含む)に該当
 - …「特特」を選択

年調所得税額(マイナスの場合は0)/ 年調年税額

・特例特別特例取得に該当…「特特特」を選択

源泉徴収票の住宅借入金等特別控除区分に表示されます。

住宅推入企	集構及 集構 連用数	1	居住開始年月 日(1回目)	3 [#]	10 10	1	住宅借入金等 特別控除区分 (1回目)	住(特特特)	住宅借入金等 年末残高 (1回目)
0. 35 .0938.	住宅借入金 等待別控除 可能額	50,000	居住開始年月 日(2回目)	年	月	Þ	拝新護入金等 (2001)	1	住宅借入金等 年末残高 (2回目)

4 年末調整票入力

源泉徴収簿の年末調整票の各項目入力欄です。扶養親族数に異動がある場合の入力や、超過額・不足額の精算入力を行います。白色欄はすべて直接入力欄です。

- 前年からの過不足税額がある場合に入力します。
- ②扶養親族数の異動を表現することができます。

例) 6月15日に結婚した場合

当初:配偶者無しに変更

2段目:6月15日・一般と選択

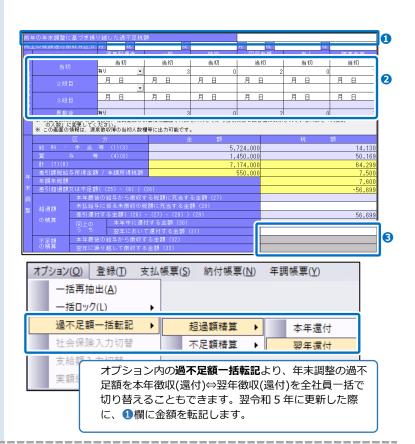
3翌年に過不足調整を行う場合は、「31」欄や「33」欄に入力することで、翌年マスターの ●欄に転記します。

V

/ ポイント ―翌年精算項目の入力

- 超過額を翌年還付する…「31」欄へ入力
- ●不足額を翌年徴収する…「33」欄へ入力

翌 30 年に更新した際に、**●**欄に金額を転記 します。



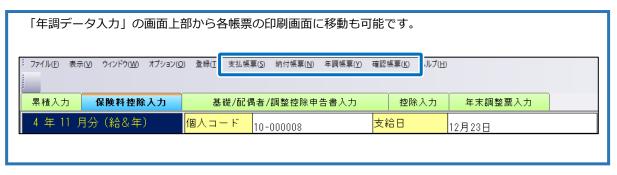
年末調整帳票の出力(給与上手くん αProll のみ)

毎月処理している入力データと年調データを基に年末調整の計算を行います。 「年末調整」→「出力処理(年調関係)」を開いて作業を行います。(給与上手くんaProⅡのみ)









翌年度への更新

年末調整の作業が終わった後は翌年更新を行います。

「導入・更新」→「翌年更新(翌月更新)」より作業を行います。

1 翌年更新

- 12月から1月に更新する場合は、前年のデータを過年度として保存する必要がある為、「給与・賞与」の入力画面からは行えません。「登録・導入」の「翌年更新」から進めてください。
- ②処理区分が給与(翌年)又は賞与(翌年)の表示になっていることを確認してください。(下記 Q&A 参照)
- ❸社員コード再付番以下は翌年更新時のみ 選択可能です。必要に応じて切り替えて ください。

当年のマスターをハードディスクに保存 するは必ず「**する」**にしてください。

- ◆支払基礎日数は算定・月変処理の判定に 影響します。時給者・日給者に関しては 出勤日数が支払基礎日数となります。
- **⑤**各項目を確認後、**▼新開始(F12)**をクリックして翌年への更新を行います。





~翌年更新Q&A~

Q1:【翌年に更新したいのですが、賞与しか選択できません】

A1:2点あります。

- ・給与賞与の入力画面の登録更新から翌月更新で進まれた場合
 - →入力画面を閉じ、**「登録・導入」**の「**翌年更新」**から進めてください。
- ・12 月まで進めているが年調計算がかかっていない状態の場合
 - →「給与・賞与」の入力画面で**年調切替ボタン**から**年末調整計算を行う**の状態にしてから 再度登録導入の翌年更新を行ってください。

